

# 骨をできるだけ削らないインプラント手術法 OAM(大口式)インプラントベーシックコース

【日時・会場】

平成31年1月20日(日) 午前10時～午後4時  
A P 東京八重洲通り(JR 東京駅徒歩圏内)  
(「東京駅」八重洲中央口より徒歩6分 東京メトロ銀座線「京橋駅」徒歩約4分)

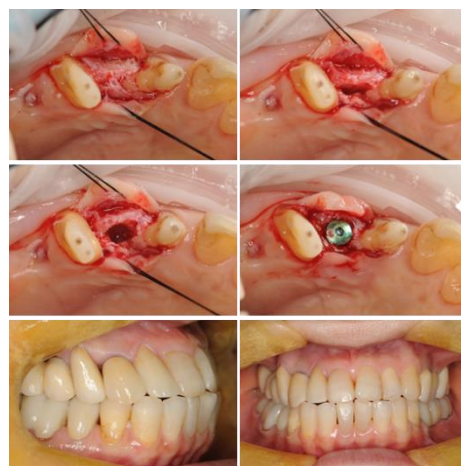
OAMインプラント法とは(Oguchi Augmentation Method)

岐阜県岐阜市の開業医、大口弘先生が考案したインプラント手術法です。狭窄骨への対応法としてGBR(骨造成)やリッジエクспанションテクニックがありますが、いざ取入れるとなると高度な知識とコスト、予後の不安など、開業医にとって様々なリスクを抱えることとなります。

OAMインプラント法では右症例のような狭窄骨でもGBRを伴わず、リッジエクспанションのように唇・頬側骨に縦切削を加えることなく骨の拡大を行ない、インプラント窩を形成、埋入することができます。

本コースでは術式の解説と豚肋骨を用いた実習を行ない、技術を習得して頂くことができます。

■講師のOAMに関する発表  
骨緻密化法における埋入窩形成時のオーギュメーターの太さが初期固定に及ぼす影響  
※日本口腔インプラント学会関東甲信越大会



部位: 右上3番  
埋入インプラント: 直径4.0mm

【受講費】

※昼食、テキスト付  
64,800円(税込)

【お支払方法】

銀行振込  
《振込先》  
三菱UFJ銀行 新名古屋駅前支店  
普通 1482812  
株式会社エイペックスメディカ

【主なカリキュラム】

- OAMインプラント法の概念と理論
- 低侵襲インプラント法
- 狭窄骨の拡大法  
スリッピング法 ジグリング法
- OAM 抜歯後即時埋入法
- 海綿骨移動術
- 質疑応答
- 豚肋骨実習
- 昭和大学での研究解説

【講師紹介】

山口 葉子先生  
昭和大学歯学部インプラント歯科学講座助教  
(論文)

2本連結したインプラント体の破折機序に関する研究  
Effect of implant design on primary stability using torque-time curves in artificial bone

《OAM法に関する発表》

骨緻密化法における埋入窩形成時のオーギュメーターの太さが初期固定に及ぼす影響 ※日本口腔インプラント学会関東甲信越大会



【実習】

ベーシックの実習は豚肋骨を使用いたします。豚肋骨は顎骨の狭窄骨に近似した形体をしていますので、リアリティーのある実習を行っていただけます。



実習時間に余裕がございますので、複数のインプラント窩を形成していただくことができます。インプラント体は2本ご用意しておりますので、形成された部分に埋入していただけます。実習器具、白衣、グローブ、マスクは会場にご用意しておりますので、そちらをご利用ください。

お申込みは下記に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

フリガナ	受講票の送付先住所 <input type="checkbox"/> 医院 <input type="checkbox"/> ご自宅
お名前	〒 -
<input type="checkbox"/> OAMコース再受講の方はこちらに☑をお願いします。 (再受講割引が適用されます)	
医院名	
勤務先	
TEL	FAX
メールアドレス	@

主催: 株式会社エイペックスメディカ

(本社) 〒500-8178 岐阜県岐阜市清住町1-11-1 TEL:058-266-0123

(赤坂研修ルーム) 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目10-12 TEL:03-5545-4618

**FAX 058-266-0128**